

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

## ②施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園北加瀬	種別：保育所
代表者氏名：園長 齋藤 敦	定員（利用人数）： 70名
所在地：〒212-0057 神奈川県川崎市幸区北加瀬2-11-4	
TEL：044-589-6003	ホームページ： <a href="https://www.like-kn.co.jp/academy/establishment/nijiiro/kitakase/index.html">https://www.like-kn.co.jp/academy/establishment/nijiiro/kitakase/index.html</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2018年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクアカデミー株式会社	
職員数	常勤職員： 16名 非常勤職員： 4名
専門職員	（専門職の名称）
	保育士： 13名
	園長： 1名 看護師： 1名 主任保育士： 1名 栄養士： 4名
施設・設備の概要	（居室数） 保育室6、事務室1、医務室1、調理室1、前室1、相談室1、職員休憩室1、職員更衣室1、調乳室1 （設備等） 園庭、ホール、エレベーター、1階ホール吹き抜け、シーリングファン、シャワー室2、幼児トイレ1、乳児トイレ1、職員トイレ1、みんなのトイレ1、洗濯室1、沐浴室1

## ③理念・基本方針

保育方針  
みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛（信頼・安定・共感）  
\*めざす保育園像\*

- 陽だまりのような保育園
- 地域と共に育つ保育園
- 子どもと共に輝いていける保育園

保育目標  
\*めざす子どもの姿\*

- 自然を愛し、心身ともに健やかな子ども
- \* 歩く、走る、跳ぶなど戸外での活動をとおして、からだを動かす楽しさを知った子ども。
- \* 自然と親しみ、情緒豊かな心・知的興味や関心を育て、思考力、認識力を培い、科学的に観察する力を持った子ども。
- 自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども
- \* 意欲・想像を掻き立てられる環境の中で子ども自らが主体的に行動し「やってみたい」と思える子ども。
- \* 様々な遊びや実体験を通じ想像力を養いながら、正しいと思うことが分かり自分で行動する力、困難にも立ち向かい簡単にあきらめない心をもった子ども。
- 「仲間」と関わり、人を思いやれる子ども。

- \* 相手の人権を尊重し、思いやりのある子ども。
- \* やさしく愛され見守られる中で、人を愛したり、やさしくすることに喜びを持てる子ども。
- 自己を表現できる子ども
- \* さまざまな生活の場面で、自分の思いを「自分らしく」表現できる子ども。
- \* 豊かな体験を通して物を見たり・感じたり・考えたりし、喜びや驚きを伝えられる子ども。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

- コトニアガーデンというJR都市開発の元に整備された保育園。
- ・コトニアガーデンのコンセプト…“こども+シニア”に基づき、コトニアガーデンに集う様々な人とのコミュニケーションに特化した保育園を目指しています。
- 隣接する高齢者施設（デイケア、ステイ、ショートステイ）の皆様と交流を行っています。
- ・散歩時には玄関を訪れ元気よく「行ってきます」と挨拶をします。デイケアの方々にはガラス越しに挨拶をしてから出発をします。
  - ・高齢者施設を訪れ、一緒に折り紙や制作遊びをします。運動会や発表会の頃には必ず披露をしに行きます。園に招き乳児クラスの遊戯や幼児クラスの組体操、劇遊びなどを披露し喜ばれています。
  - ・お互いの施設で月の誕生者をお祝いします。園には利用者の方をお招きし、一緒に歌を歌ったり発表をしたりしてお祝いしています。先方に出向き、誕生日をお祝いしてもらい手作りのおもちゃを頂くこともあります。
  - ・高齢者の方々と地域の方と一緒に畑で作物を育てています。今までにミニトマト、さつまいもを収穫することができました。また、近隣の花壇に花の植え付けを行っています。
- 晴れた日には近隣の公園や隣にある夢見ヶ崎公園へ散歩に行き、肌で自然を感じ、思い切り発散して帰園します。
- ホールにて雨の日でも各クラスで順番に身体を動かすことができ、雨の日にも多様な取り組みが可能です。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年6月17日（契約日） ～ 2021年4月9日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

#### ⑥総評

- ◇特に評価の高い点
- ・**コトニアガーデンでの保育園として地域と共に育っている**  
コトニアガーデンというJR都市開発のもとに整備された保育園であり、子どもたちとシニア世代の方が交流し、多世代が集うあたたかな場というコンセプト通り、高齢者施設、地域の方との交流に力を入れて取り組んでいる。高齢者施設を訪問したり、地域の方と一緒に花壇の花の植え付けを行ったりなど多くの活動を保育に取り入れ、子どもたちにふれあいの場を提供し地域の園として共に育っている。
  - ・**若い職員が多く、職員のモチベーション維持向上に力を入れている**  
シフトの調整、職員が休みを取りやすい環境づくり、休憩時間の確保など、職員との面談から就業に関する様々な意見や要望を受け、意見を反映し職員の目標をバックアップできるよ

う取り組んでいる。園長は若い職員の意欲に信頼を寄せており、働きやすい環境を整え、職員のモチベーションを維持できるように努めている。

・子どもの「やってみたい」気持ちや声を逃さないように心がけている

園で行われている様々な取り組みの中で、職員は「子ども中心になっているか」について常に考えながら保育にあたっている。子どもの興味に寄り添い、「やってみたいこと」をどうすれば実現できるか、子どもと一緒に考えて考えることを大切に取り組んでいる。

◇改善を求められる点

・中長期計画の進捗状況を可視化できるような仕組みを構築されたい

法人統一の様式で中長期計画、単年度事業計画が策定されており、進捗（達成）状況を期間確認する仕組みが整っている。さらに、計画の達成度を測る具体的な指標を定めて、計画の推進を可視化できるよう取り組むことも望まれる。職員をはじめ保護者へも分かりやすく伝えることで、実効性のある計画として推進することが望まれる。

・地域の子育て家庭との交流を課題としている

ウィズコロナという時代の中で、保育園として地域の為に何ができるのか、孤立していそうな地域家庭へのケアをいち早く見つけていきたいと考え課題としている。園に来てもらうだけでなく、ウェブなどでも発信は必要であると感じており、保護者の意見なども取り入れながらすすめることを検討している。

・職員一人ひとりの保育力の向上を目指している

個人の能力やスキルを考慮しながら研修参加を促しレベルアップを図っているほか、各自が自らの目標を定め、自己評価することで目標の自覚を図っている。ただし、開園して3年目を迎えた園であり、経験や認識に差異があることは否めないため、繰り返し考えあう機会を設けながら職員一人ひとりのレベルアップを目指している。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

・第三者評価への取り組みについて、職員全体で取り組めたことに高い価値を感じます。グループ毎に取り組むことで保育士一人ひとりが実践していること、感じていること、考えていることを存分に話し合い、現在の取り組みがどのように子ども達へ生かされているのか、どのように保護者の皆様や職員に理解されているのかを抽出することができ開園からここまでの間についての良い振り返りとなりました。特に職員間での「引き継ぎ」「周知」というワードについては特に問題視をすることに繋がっています。伝達方法についての見直し、フォーマットの見直し、実践からの振り返りを行いそのワードを克服していきたいと職員間で話し合いました。また今回の結果から計画性への見通しという部分での弱さが把握できました。こちらについてもいかに時間を作り、職員全員で理解を深めていくかという課題に向かって新たな取り組みをしなければと再考しています。

・にじいろ保育園北加瀬は若い職員集団であるのですが、皆で話し合っていくうちに保育内容の質が上がっていることに気付くことができたことも大きな収穫でした。日々の取り組みから子どもたちとの関係性や理解の向上や保護者の方々との連携も良く取れていたのかと思われまます。高評価を多々頂いておりますが、評価結果に満足せず今後も保育の学びを怠らないよう運営を続けていきたいと考えます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり